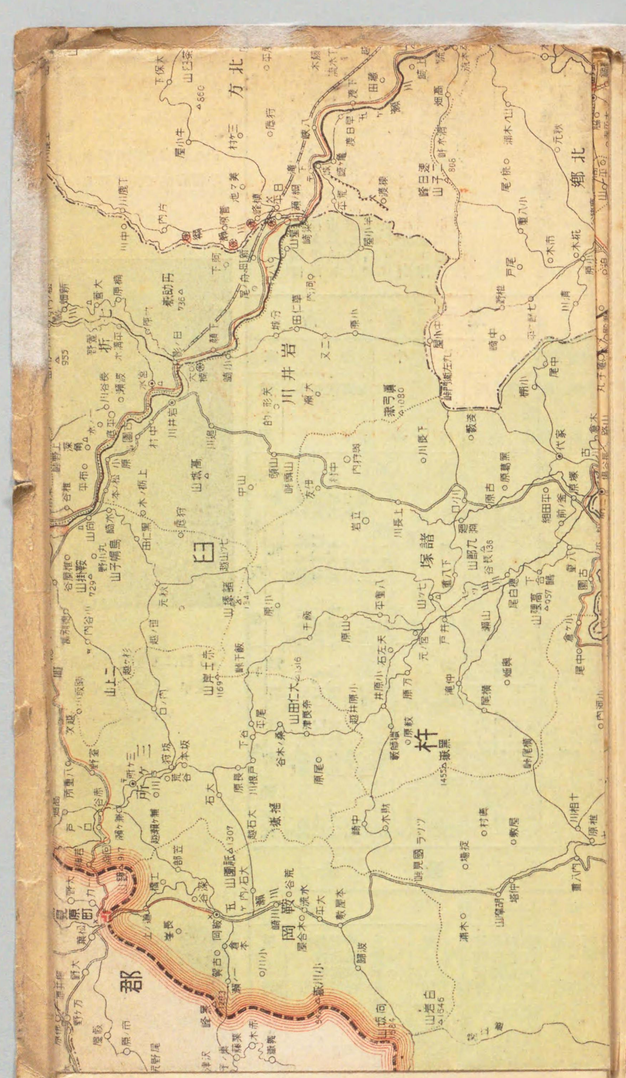
昭和九年

宮崎縣勢一覽

Y994
J3973



¥994
J973

I種
W
1200800030701

宮崎縣勢

概説

面積　本縣の總面積は五〇一方里餘にして宮崎、都城、延岡の三市宮崎、南那珂、北諸縣、西諸縣、東諸縣、兒湯、東臼杵、西臼杵の八郡九十二ヶ町村に區劃しその一市町村の平均面積は五方里强に當る。而してその中約七割は森林原野を以て占め耕地は僅かに一割二分に過ぎず。

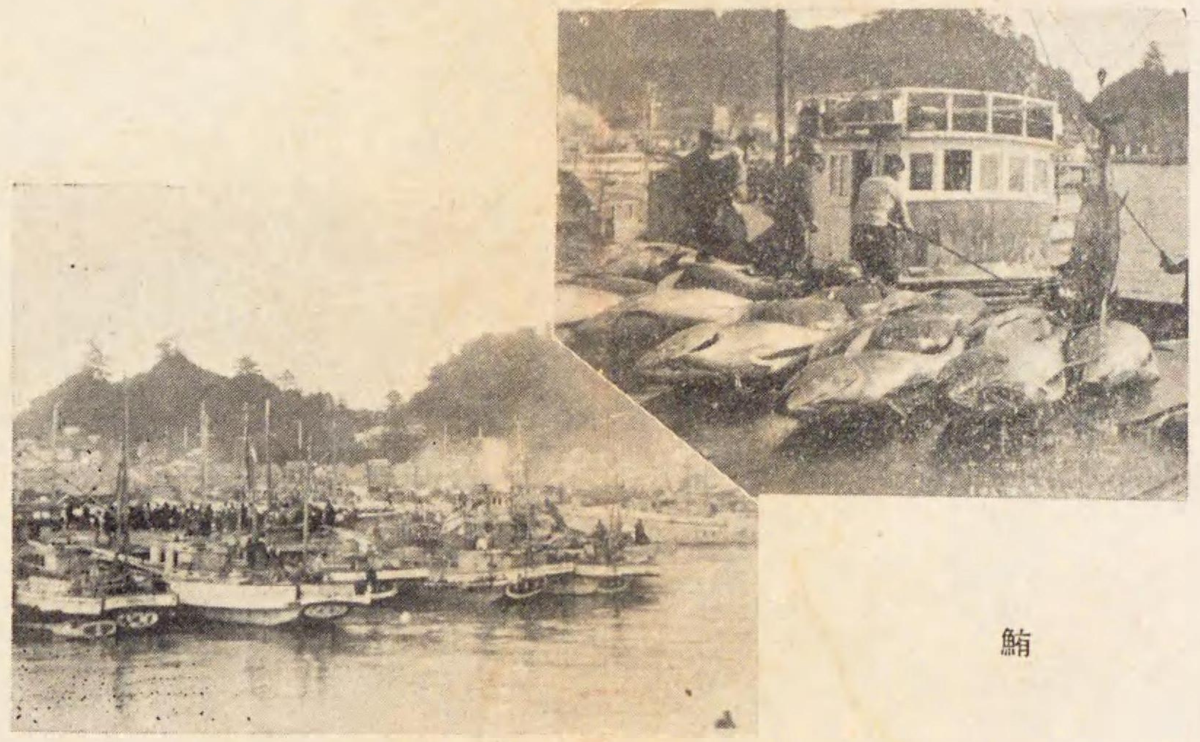
産業　本縣は土地廣濶氣候温暖加ふるに地味肥沃、而して又東南一帶は暖流近く流るゝ日向灘に面するを以て各種の産業に適する所謂天惠の地なりと雖、由來人口稀薄交通亦不便なりし爲め之等天然の富源も空しく荒廢に委せらるゝの憾ありしが近時交通機關の發達は延びて産業行政機關の整備を叫び其の計畫方針、乃至指導等と一面又人口の増加と相俟つて各種の産業年と共に隆盛に赴きつゝあり、而して其の主なるものは

農業　にして其の本業に從事するもの總戸數の五割强、生産額亦總額の三割强を占め、米、繭、麥、甘藷共に百萬圓以上の産額を有す。尙近時早熟蔬菜の栽培は年と共に旺盛となり殊に南瓜の如きは全國に其の名聲を博するに至れり。

畜産業　は又古來有名にして優良の馬産地として東北の先進縣と覇を爭ひ、又**林業**　は農業に亞ぐ本縣重要の産業にして木材産出量の如き全國に於て北海道に亞ぎ第二位を占め而かも其の材質優良なる點に於ては既に定評あり。其の他木炭、椎茸共に全國の首班たり。

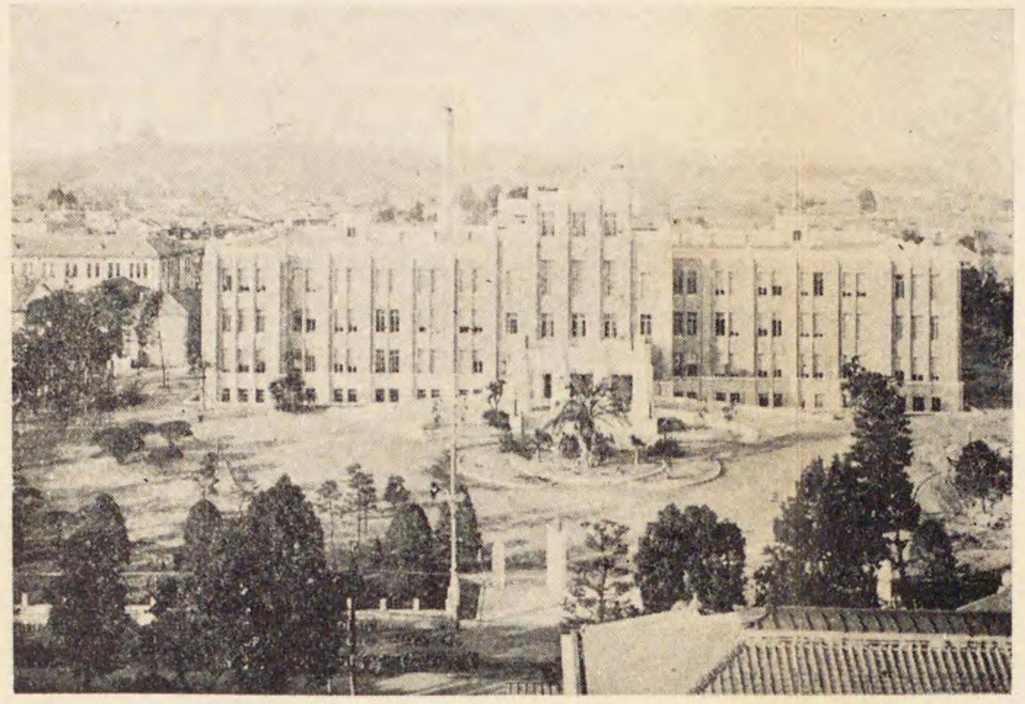
水産業　亦近時著しく發達し例年六百萬圓内外の産額あり、就中マグロの水揚量に至りては全國に其の比なし。

工業　本縣の工業として見るべきものは從來僅かに製糸工業ありしのみなるが曩に縣北延岡に日本窒素肥料株式會社延岡工場の建設せらるゝや其の姉妹工場としてベンベルグ工場、レーヨン工場火藥工場等の如き大工場相亞いで此の地に建設せられ今や延岡市は一躍東九州に於ける大工業地帶と化し、始めてこの地に一足を印すものは其の隆々殷賑潑剌たる状況を見て蓋し意想外なるものあるを知るべし。工産物の主なるものとしては人造絹絲、生糸、工業用藥品、酒類、肥料、火藥及同製品、木製品等にして何れも



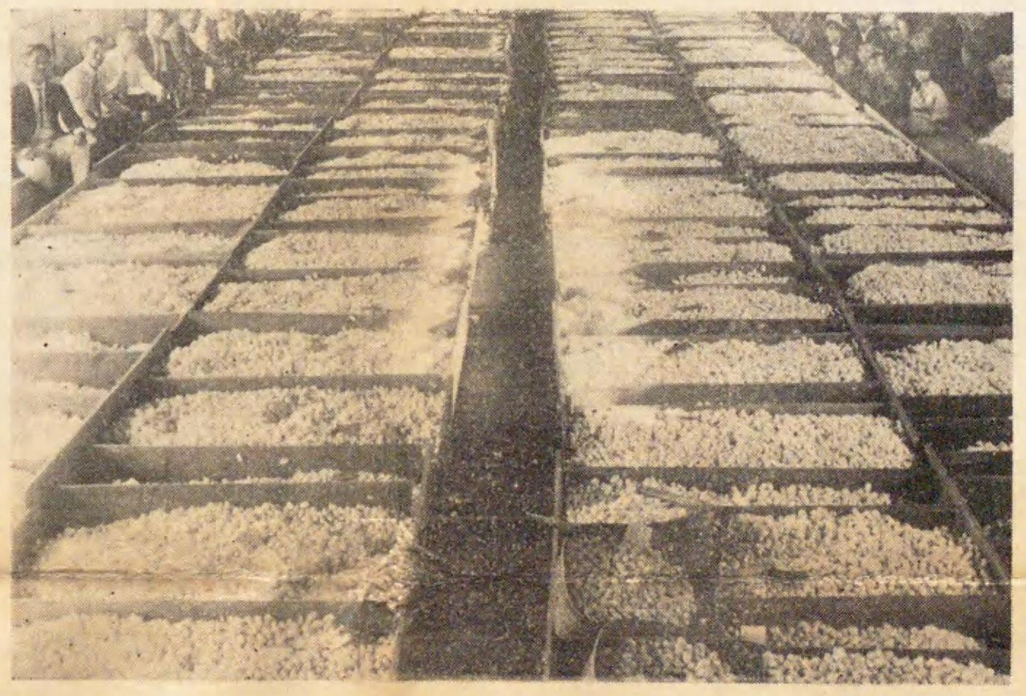
鮪

本縣南部及南薩諸島沖合を漁場とし、主として延繩を以て從事さる。冬季各都市に於て消費さるゝものは殆ど本縣よりの移出に俟つものなり。單に本縣水産物中の第一位たるのみならず、本邦鮪の首位を占め年産三百萬圓に垂々としつゝあり。



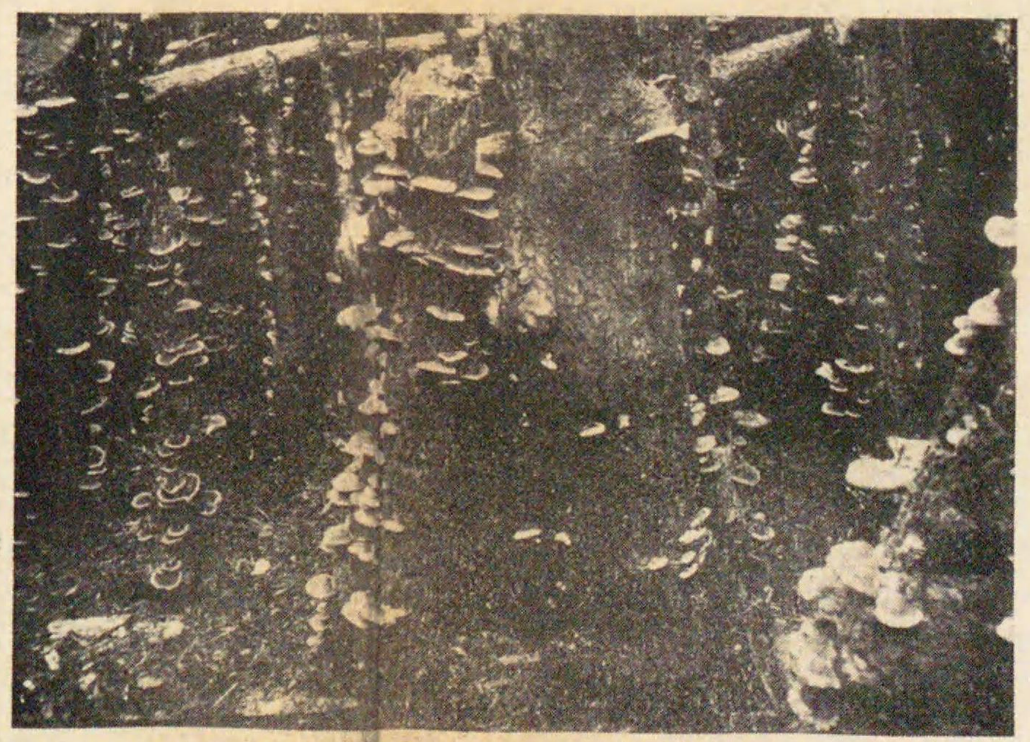
宮崎縣廳

昭和六年六月舊廳舍跡に着工し、翌年十月竣工せしものなり。建設費七十萬二千圓、間口七十三米四〇、奥行四十三米の近世ゴシック式五階建（屋階共）にして、各階の總面積一萬十方米八二なり。



繭及生絲

繭は年産百五十萬貫、生絲は十七萬貫を産し、本縣經濟界の覇を占む。尙本縣産の蠶種は品質優良、蟲質强健なる點に於て他府縣の追從を許さず。年産約七百萬瓦に達す。



椎茸

本縣の氣候風土は、椎茸の栽培に適し、且つ原木豊富なるに因り、夙に「日向椎茸」の名聲は海外に及べり。栽培者五千餘人、年産六十餘萬斤、價額八十五萬圓にして其の産額本邦第一位なり。

地勢

本縣は九州の東南端に位し日向の國一圓を管す。北は大分縣に隣り、西は山岳連亘して熊本縣の境を劃し、西南は鹿兒島縣に接し、東方一帶は太平洋に面して展開す。國中二派の山脈あり一は西北より起り祖母嶽、市房山等の高峰を連ねて南に走り、一は西南に崛起し、韓國嶽及霧島山の峻岳を爲し蟠屈して海に入る。其の間十數條の河川皆東奔して海に注ぐ。五ヶ瀬川、美々津川、一ッ瀬川、大淀川は何れも流路二十里以上に及び舟筏の便あり。海岸線の延長は七十七里に亘り十餘の港灣其の間に點在す。卽ち福島、（南那珂郡）外浦、目井津、油津、内海、折生迫、赤江、福島、（宮崎郡）福浦、美々津細島、土々呂、延岡、古江、市振、宮野浦、島野浦等にして其の中細島は甲號、福島（南那珂郡）油津、内海、土々呂、延岡の各港は乙號として共に内務省の指定港灣たり。

置縣の沿革

明治四年七月廢藩置縣の命出で日向の國は延岡、佐土原、高鍋、飫肥、鹿兒島、人吉及日田の七縣に分屬し尋で同年十一月十四日都城、美々津、八代三縣の分屬となり、五年九月更に八代縣に屬する一部を美々津縣に合し六年一月都城、美々津の二縣を廢して宮崎縣を置く。越えて九年八月鹿兒島縣に合せらる。茲に於て宮崎縣再置の議起り遂に明治十六年五月太政官布告第十五號を以て再び宮崎縣を置くの令に接し七月一日を以て開廳今日に至れり。

土地

縣廳所在地	東經	北緯
宮崎市別府町	一三一度・二六	三一度・五六

縣ノ位置		經緯
極東	東臼杵郡北浦村	東經 一三一度・五三
極西	西諸縣郡眞幸村	東經 一三〇・四三
極南	南那珂郡都井村	北緯 三一・二一
極北	東臼杵郡北川村	北緯 三二・五〇

面積廣袤及沿海線	
面積	五〇一・七三方里
廣袤 東西	一七・二〇里町
廣袤 南北	四〇・〇〇
沿海線	七七里

行政區劃

郡市名	面積（方里）	町數	村數	一方里ニ付現住人口
總數	五〇一・七三	二〇	七二	一、六八二
宮崎郡	二七・二六	二	九	二、五四〇
南那珂郡	五四・〇九	三	一三	一、七七五
北諸縣郡	四八・一九	二	九	二、四一八
西諸縣郡	六〇・七五	二	五	一、四六二
東諸縣郡	二四・九〇	三	四	一、七二二
兒湯郡	七五・八八	四	一一	一、三五七
東臼杵郡	一一〇・九七	三	一二	一、〇七三
西臼杵郡	九一・五七	一	九	六五三
宮崎市	四・〇〇	—	—	一六、一五九
都城市	一・二三	—	—	三一、七〇八
延岡市	二・八九	—	—	一五、五八五

官有地（昭和十年三月末日現在）

總數	社地	各省用地	山林	原野	其ノ他
一八九、二〇五・三町	二六二・四町	八、一二八・一町	一八〇、〇一三・八町	三〇九・八町	四九一・二町

民有地（昭和十年一月一日現在）

種別	總數	有租地 總數	田	畑	宅地	山林	原野	其他	免租地	年期地
地積（町）	二三五、六一一・六	二二五、九〇九・二	四五、九三八・二	六三、七〇〇・〇	六、九五二・〇	七一、四三八・二	三七、七四二・一	一三八・七	六、七四六・〇	二、九五六・四
賃貸價額（円）	一八、七六六、三九六	一八、七四五、三五〇	一〇、八六二、四六九	三、七〇〇、四六〇	三、四四九、〇五三	五九一、一八四	一三四、三三七	七、八五七	—	二一、〇四六
一反當賃貸價格（円）	—	—	二三・六五	五・八一	四九・六一	〇・八三	〇・三六	—	—	〇・七一

氣象

測候所	觀測所
一	三六

氣溫（℃）（一）ハ氷點以下	
平均	一六・六度
最高ノ極	三七・一
最低ノ極（一）	六・五

天氣日數	
快晴	七三
曇天	一三三
降水	一三三

降水量	
總量	二、〇三六・六
最多日量	四三〇・四
全上月日	十月二十三日

風速度	
最大	一三・三米秒
方向	WNW
全上月日	三月二十一日

戸口

人口靜態

郡市名	本籍人口	現住人口 總數	男	女	現住戸數	平均一戸ノ現住人口
總數	八三一、五〇八	八四四、〇一五	四二五、三六四	四一八、六五一	一四四、九一三	五・八二
宮崎郡	七七、六二七	六九、二四九	三四、七五一	三四、四九八	一二、四八五	五・五五
南那珂郡	一〇四、二四八	九五、九九三	四八、三九九	四七、五九四	一五、七六〇	六・〇九
北諸縣郡	一三三、七一五	一二六、五三三	五八、八〇六	五七、七二七	一七、七五一	六・五六
西諸縣郡	八四、〇六六	八八、八四二	四四、七七七	四四、〇六五	一四、七九一	六・〇一
東諸縣郡	四七、〇六六	四二、八七八	二一、三九一	二一、四八七	七、五九八	五・六四
兒湯郡	一〇一、五七〇	一〇二、九九二	五一、八七〇	五一、一二二	一七、九五五	五・七四
東臼杵郡	一二五、七五一	一一九、〇三九	六〇、三六一	五八、六七八	二〇、〇五三	五・九四
西臼杵郡	六二、二〇二	五九、八一三	三〇、七一七	二九、〇九六	九、五七八	六・二四
宮崎市	四二、三九三	六四、六三五	三三、二三五	三一、四一〇	一三、六二八	五・一二
都城市	三三、七〇四	三九、〇〇一	一九、一〇八	一九、八九三	七、七二一	五・〇五
延岡市	三一、一六六	四五、〇四〇	二三、九五九	二三、〇八一	八、五九三	五・二四

人口動態（本籍人）

出生	死亡	婚姻	離婚
二八、〇四九	一三、五七八	五、八八一	六〇三

産業別戸數

種別	總數	農業	水産業	鑛業	工業	商業	交通業	公務、自由業
本業 戸數	一四四、九一三	八二、六〇〇	四、二八八	一、一八七	一六、一三六	二〇、一六九	四、六四七	九、五八九
本業 人口	八四四、〇一五	二九七、八六〇	一〇、六七四	二、七一一	四五、八五三	五一、七九三	七、八二九	一三、七五八
副業 戸數	一〇五、七九一	八〇、六八〇	五、〇四〇	八六五	六、九六八	六、九二三	二、九九七	九四八
副業 人口	二六六、〇四四	二三〇、九六六	八、一二六	一、三〇八	一三、六三〇	一四、〇五六	四、三二四	六六七
本業有業者千ニ付	一、〇〇〇・〇	三五二・九	一二・六	三・二	五四・三	六一・四	九・三	一六・三

畜産業

家畜（年末現在）

種別	總數	牝	牡	生産頭數
牛	三四、〇二三頭	二四、七七七頭	九、二四六頭	八、〇二三頭
馬	五六、二三三	四四、四五七	一一、七七六	六、三六一
豚	一二、二五二	七、七八二	四、四七〇	一〇、四七六
緬羊	二九三	二一一	八二	九八
山羊	四七一	三九一	八〇	一五五

牛乳

搾乳場數	乳牛頭數	搾取高
三三	二六五	二、二四四石

家禽

種別	飼養戸數	羽數	價額
鷄	六一、三一〇	九〇七、三〇三	四三三、九一五円
鶩	五六八	二、七八八	一、五四一
鵞	二七一	六九三	一、一二三
七面鳥	一七三	六八二	一、二九八

林業

林野面積

種別	總數	立木地	無立木地
總數	五一〇、一二八・八町	四六一、二五七・六町	四八、八七一・二町
國有	一六八、一〇〇・九	一六四、二五七・〇	三、八四三・九
公有	六三、五八〇・六	五二、五〇七・六	一一、〇七三・〇

林産物

種別	總數	丸材及角材 總額	松材	杉材	樅材	欅材	其他	挽板 總額	松板	杉板	樅板
數量	—	二、〇四八、〇二三石	四三三、三一一	一、二〇三、四二一	一四七、四七一	四八、八五一	二二四、九五八	二、六二五、三四六坪	四四四、五〇四	一、一五五、六二一	七二四、二一〇
價額	一四、〇二七、二三四円	四、七七一、五四四	七七〇、六四四	二、七四三、四三三	五〇一、三七二	一五一、三六七	六〇四、七二八	二、九四二、六七四	五四八、九九八	一、二八〇、〇四一	七三七、〇七五

漁業

漁獲物總額

種別	總額	魚類 總額	鰮	鰹	鮚	鮪	鰤	鰺	鯛	鰆	鯵	鮎	其他
數量（貫）	—	五、八二〇、九九二	一、五八三、〇二七	一、三三八、二九八	一八五、七五五	一、四四六、〇九六	一六一、七六八	一〇、〇五三	四五、七六九	五三、三一四	二一〇、九七八	二九、三〇四	六六六、六三〇
價額（円）	四、八八四、九〇七	四、六一八、七八三	二六九、七四〇	三七九、〇九六	七四、五二三	二、六二六、〇三五	二五三、三九六	五二、九三九	九三、〇三六	一一六、八三一	一六四、四八二	九〇、一八八	四九八、六一七

水産製造物

種別	總額	節類	素乾	鹽乾	煮乾	燻乾
數量（貫）	—	一四〇、〇九四	二七、七〇八	一二〇、一一三	六四、九〇五	二四〇
價額（円）	七五五、三二一	三四六、二四九	五九、〇五五	九三、六七四	三四、〇九七	四、三三〇

工業

工場

種別	總數	紡織工業	機械及器具工業	窯業	化學工業	製材及木製品工業	印刷及製本業	食料品工業	瓦斯及電氣業	金屬工業	其ノ他ノ工業
工場數	三三二	五四	一四	八	二五	一三二	一三	四九	一三	一	二四
職工數 總數	一五、七一五	四、一〇五	一三三	四二	八、九五三	一、三八九	一七九	四八八	一三三	二五	二七九

本欄ノ事項ハ五人以上ノ職工ヲ使用スル設備ヲ有……五人以上ノ職工ヲ使用スル工場ヲ調査シタルモノ

工産

種別	人造絹絲	工業藥品	火藥及同製品	發電	酒類	肥料	木製品	菓子	製茶	醤油	豆腐
製造戸數（所數）	二	一	四	三四	一七九	一二四	一、一二八	七五七	六二、三四五	一〇三	一、九八〇
數量	?	?	?	?	三五、六四九石	四、一九七、〇四一貫	?	?	二八、七八九貫	二三、四九三石	?

…崎縣勢一覽

[illegible]天惠の[illegible]人口稀薄交通不便なりし爲め之等天然の富源も空しく荒廢に委せらるゝの憾ありしが近時交通機關の發達は延ひて産業行政機關の整備を叫び其の計畫方針、乃至指導等と一面又人口の增加と相俟つて各種の産業年と共に隆盛に赴きつゝあり、而して其の主なるものは

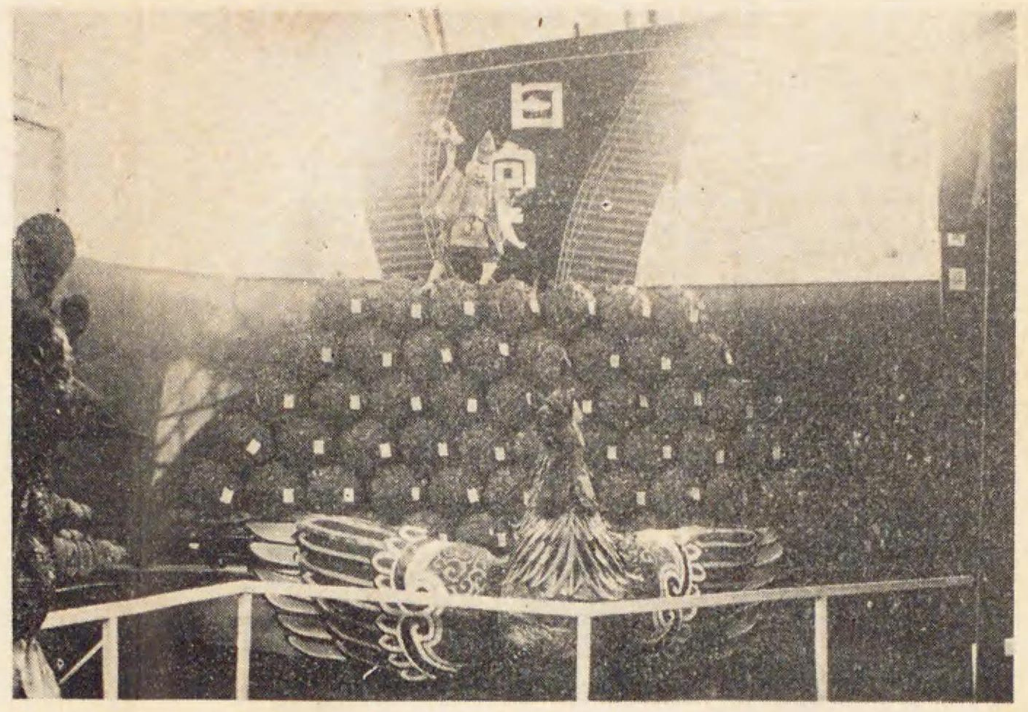
農業 にして其の本業に從事するもの總戸數の五割强、生産額亦總額の三割强を占め、米、繭、麥、甘藷共に百萬圓以上の産額を有す。尙近時早熟蔬菜の栽培は年と共に旺盛となり殊に南瓜の如きは全國に其の名聲を博するに至れり。

畜産業 は又古來有名にして優良の馬産地として東北の先進縣と覇を爭ひ、又**林業** は農業に亞ぐ本縣重要の産業にして木材産出量の如き全國に於て北海道に亞ぎ第二位を占め而かも其の材質優良なる點に於ては既に定評あり。其の他木炭、椎茸共に全國の首班たり。

水産業 亦近時著しく發達し例年六百萬圓内外の産額あり、就中マグロの水揚量に至りては全國に其の比なし。

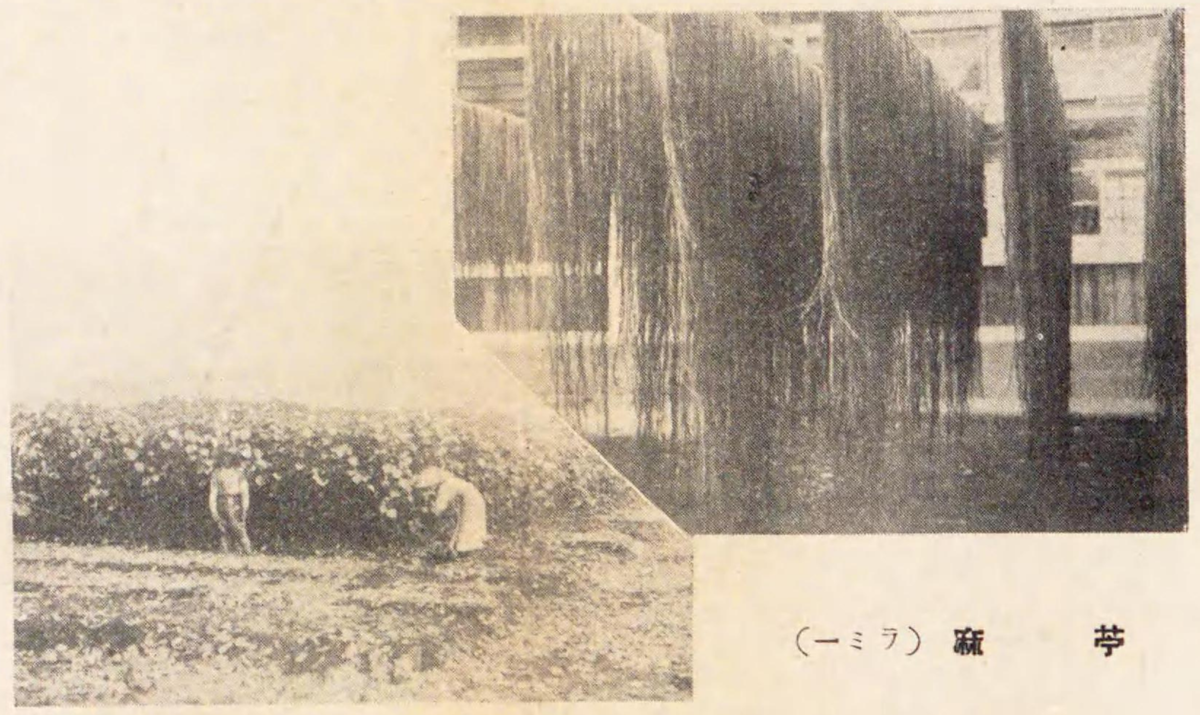
工業 本縣の工業として見るべきものは從來僅かに製糸工業ありしのみなるが曩に縣北延岡に日本窒素肥料株式會社延岡工場の建設せらるゝや其の姉妹工場としてベンベルグ工場、レーヨン工場火藥工場等の如き大工場相亞いで此の地に建設せられ今や延岡市は一躍東九州に於ける大工業地帶と化し、始めてこの地に一足を印すものは其の隆々殷賑潑剌たる狀況を見て蓋し意想外なるものあるを知るべし。工産物の主なるものとしては人造絹絲、生糸、工業用藥品、酒類、肥料、火藥及同製品、木製品等にして何れも百萬圓以上の産額を有す。更に電氣事業に至りては地形上各河川共發電所の設置に適する地點多きを以て大資本家の虎視眈々たるものあり、既に發電所三十四ヶ所十三萬キロワットの發電力を有し、九州全土に於ける電化工業上有力なる地位を占め居れり。

鑛業 本縣の鑛産物中著名なるものは錫及銅にして、就中西臼杵郡岩戸村に産する錫は近年に至り本邦唯一のものとして國際市場に現はるゝに至り、其の産額約二百萬圓に達す。之を要するに本縣の産業は農業、林業を主とするも目下躍進の途上にある工業は前途益々多望にして其の生産額の農産額を凌駕するに至るも蓋し遠き將來にあらざるべし。



日向米

本縣物産中の首位を占め、年産額百萬石内外なり。本縣米は從來市場の信用薄かりしも各方面に亘り鋭意之れが改善の結果、聲價頓に向上し、今や中央市場に於て常に優位を占むるに至れり。



苧麻(ラミー)

苧麻は本縣の如き多雨溫暖なる氣候に適せるを以て、昭和元年以來之れが集團栽培を獎勵し來り、其の産額三萬數千圓、現在作付二十ヶ町村、約八十町歩に達せり。

氣象

測候所	一
觀測所	三六

種別		
氣溫(℃)((一)ハ冰點以下)	平均	一六・六度
	最高ノ極	三七・一
	最低ノ極	(一)六・五
天氣日數	快晴	七三
	曇天	一三三
	降水	一三三
降水量	總量	二、〇三六・六
	最多日量	四三〇・四
	仝上月日	十月二十三日
風速度	最大	一三・三米/秒
	方向	WNW
	仝上月日	三月二十一日

戸口

人口靜態

郡市名	本籍人口	現住人口 總數	男	女	現住戸數	平均一戸ノ現住人口
總數	八三一、五〇八	八四四、〇一五	四二五、三六四	四一八、六五一	一四四、九一三	五・八二
宮崎郡	七七、六二七	六九、二四九	三四、七五一	三四、四九八	一三、四八五	五・一五
南那珂郡	一〇四、二四八	九五、九九三	四八、三九九	四七、五九四	一五、七六〇	六・〇九
北諸縣郡	一三三、七一五	一二六、五三三	五八、八〇六	六七、七二七	一七、七五一	六・五六
西諸縣郡	八四、〇六六	八八、四四三	四四、七七七	四四、〇六五	一四、七九一	六・〇一
東諸縣郡	四七、〇六六	四二、八七八	二一、三九一	二一、四八七	七、五九八	五・六四
兒湯郡	一〇一、五七〇	一〇二、九九二	五一、八七〇	五一、一二二	一七、九九五	五・七四
東臼杵郡	一二五、七五一	一一九、〇三九	六〇、三六一	五八、六七八	二〇、〇五三	五・九四
西臼杵郡	六二、二〇二	五九、八一三	三〇、七一七	二九、〇九六	九、五七八	六・二二
宮崎市	四二、三九三	六四、六三五	三三、二二五	三三、四一〇	一三、六二八	五・一二
都城市	三三、七〇四	三九、〇〇一	一九、一〇八	一九、八九三	七、七二一	五・〇五
延岡市	三一、一六六	四五、〇四〇	二三、九五九	二三、〇八一	八、五九三	五・二四

人口動態(本籍人)

出生	死亡	婚姻	離婚
二八、〇四九	一三、五七八	五、八八一	六〇三

産業別戸口

種別	本業 戸數	本業 人口	副業 戸數	副業 人口	本業有業者千ニ付
總數	一四四、九一三	八四四、〇二五	一〇五、七九一	二六六、〇四四	一、〇〇〇・〇
農業	八二、六〇〇	二九七、八六〇	八〇、六八〇	二三〇、九六六	三五二・九
水産業	四、二八八	一〇、六七四	五、〇四〇	八、一二六	一三・六
鑛業	一、一八七	二、七一一	八六五	一、三〇八	三・二
工業	一六、一三六	四五、八五三	六、九六八	一一、六三〇	五四・三
商業	二〇、一六九	五一、七九三	六、九二三	一四、〇五六	六一・四
交通業	四、六四七	七、八二九	二、九九七	四、三二四	九・三
公務自由業	九、五八九	一三、七五八	九四八	六六七	一六・三
家事	一二三	六、八九一	一一六	七五五	八・二
其他ノ産業	四、四〇〇	九、五五〇	一、二五四	三、三三三	一一・七
無業	一、七七四	三九七、〇九六	—	—	四七〇・五

生産物價額

種別	昭和九年	昭和八年	昭和七年
總額	一二四、三四三、七三一円	一〇二、七四五、四一八円	七九、三九七、五六〇円
農産	三三、一六一、二九五	三四、五八五、七一四	三〇、三三〇、二五一
蠶絲産	一二、〇二八、〇八五	一五、四三四、六四一	一一、八二三、〇九九
畜産	三、一九三、八四一	二、七三五、一四〇	二、五五九、一八五
林産	一四、〇三七、二三四	一三、四五二、二三八	九、八五六、八二五
水産	五、七一四、一九一	五、七〇八、三三三	五、一三一、五三九
工産	五二、一八九、三三五	二七、二六一、〇五三	一七、七二〇、一六八
鑛産	四、〇一九、七五〇	三、五六八、三〇〇	一、九七七、四九三
平均一戸當	八五七・九八円	七二三・〇二円	五六六・〇七円
現住者一人當	一四七・三一	一二三・三〇	九七・一四

農業

耕地

種別	年末現在段別	農家一戸當段別
總數	九四、一四五・九〇町	一・一九
田	四八、一三五・八〇	〇・六一
畑	四六、〇一〇・一〇	〇・五八

農産物(産額拾萬圓以上)

種別	作付段別	收穫高	一段歩收穫高	價額
米 總數	五一、九四八・一町	七四二、五八一石	一・四二九石	一九、八三四、七四九円
粳米	四三、一九五・九	六七四、六四二	一・五六二	一八、〇三四、〇二五
糯米	二、七〇一・〇	四一、九八〇	一・五五四	一、一六九、三七九
陸米	六、〇五一・二	二五、九五九	〇・四二九	六三一、三四五
平年	五三、九四三・八	九七一、三三〇	一・八二八	一九、七三四、一八四
麥 總數	二七、一九七・三	三一七、〇九九	一・一六六	三、四七六、四四一
大麥	一、一六一・七	二〇、四五七	一・七六一	一二六、〇七八
裸麥	一三、九七七・五	一六九、七二七	一・二一四	一、七四九、三三三
小麥	一二、〇五八・一	一二六、九一五	一・〇五三	一、六〇一、〇三一
平年	二三、六五四・一	二七一、二五五	一・一四五	二、六七七、五九四
燕麥	一、六三三・〇	三三、〇九八	一・九六七	二〇四、〇四八
甘藷	九、一二三・六	二六、九八六、五〇二貫	二九六貫	一、七〇六、九三四
大豆	五、五七一・五	三九、五四一石	〇・七一〇石	五三九、五二三
粟	二、四〇九・三	二七、五〇四	一・一四二	二八四、一九六
蕎麥	四、八六三・九	三五、三七七	〇・七二七	二六一、〇二五
玉蜀黍	一、六七五・二	一七、〇二四	一・〇一六	一四六、五三一
柑橘	(樹數)五一〇、一三九本	一、一四三、二三一貫	—	三二八、九二一
生柿	(仝)二八八、五五三	一、一九九、二九〇	—	一六九、五七六
梨	(仝)一三四、一三三	三八三、四五二	—	一三五、〇七八
生大根	二、一〇六・三町	一四、〇五八、二九八	六六七貫	五五一、六〇七
里芋	一、六四〇・九	三、六四七、七八〇	二二二	四八九、七〇六
南瓜	九六〇・〇	二、五八六、二七四	二六九	四三九、三五三
西瓜	七〇三・七	二、六二四、一二六	三七三	三九四、二五〇
牛蒡	二六一・九	八五九、七五一	三二八	一九二、三一〇
茄	四〇一・二	一、二八七、五八八	三二一	一七〇、〇〇二
胡瓜	二四〇・八	七〇八、六八〇	二九四	一三三、七七一
漬菜	四七七・一	一、七五八、九三八	三六九	一三一、六四七
工藝農産物 葉煙草	三七九・三	七六四、九四九斤	二〇二斤	五〇六、七〇三
菜種	三、七九五・九	三五、八三三石	〇・九四四石	四八八、二一三
切干大根	—	九五〇、九二五貫	—	三七六、二七〇
綠肥用作物	二六、四四八・四町	六三、六九四、四八七	二四一貫	八三一、二二七

蠶絲業

種別	飼養戸數	掃立數量	收繭高	價額
總蠶數	八一、九四六	二、一四八、一九〇瓦	一、三四八、四九七貫	三、六九〇、六七五円
春蠶	四三、五八七	一、〇二二、九九二	七四二、九八一	二、一二三、一六七
夏秋蠶	三九、三五九	一、一二五、一九八	六〇五、五一六	一、五六七、五〇八

桑畑反別	蠶種製造戸數	製造高 原蠶種	製造高 普通蠶種	價額
九、五三三・六町	六九	二〇六、二九七瓦	六、六九五、六一六瓦	九二四、〇九五円

年…期…地… (右端切レ)	
	二、九五六・四
	二、〇四六
	〇・七一

日向茶

本縣主要物産の一にして、面積千數百町歩(内山茶約四十町歩)年産額二十三萬貫、價額七十餘萬圓、內地は勿論海外に輸出され到る處名聲高し。殊に本縣西北部山間一帶到る處に叢生せる自生茶樹による本縣獨特の山茶は、蘇聯邦、モロッコ向として無盡藏に産し、尙ほ目下輸出向著香茶用料花の栽培試驗中(農林省指定)なり。

水産業

水産養殖

種別	養殖場數	同上面積	數量
總數	一、一二四	一、三三四、四五三坪	[illegible]
鯉	一、〇六七	一、三一二、三七七	[illegible]
鰻	三七	一九、四七八	[illegible]
其他	一〇	二、五九七	[illegible]

工業

工場

本欄ノ事項ハ五人以上ノ職工ヲ使用スル設備ヲ有スルモノ又ハ五人以上ノ職工ヲ使用スル工場ヲ調査シタルモノ

種別	工場數	職工數 總數	男
總數	三三三	一五、七一五	[illegible]
紡織工業	五四	四、一〇五	[illegible]
機械及器具工業	一四	一二三	[illegible]
窯業	八	四二	[illegible]
化學工業	二五	八、九五三	[illegible]
製材及木製品工業	一三二	一、三八九	[illegible]
印刷及製本工業	一三	一七九	[illegible]
食料品工業	四九	四八八	[illegible]
瓦斯及電氣業	一三	一三三	[illegible]
金屬工業	一	二五	[illegible]
其ノ他ノ工業	二四	二七九	[illegible]

工産物(産額拾萬圓以上)

種別	製造戸數	數量
人造絹絲	二	?
工業藥品	一	?
火藥及同製品	四	?
發電	(所數)三四	?
酒類	一七九	三五、六四九石
肥料	一二四	四、一九七、〇四一貫
木製品	一、一一八	?
菓子	七五七	?
製茶	六三、三四五	二八、七八九貫
醬油	一〇三	二三、四九三石
豆腐	一、九八〇	?
瓦	二六六	?
藁製品	三、一六五	?
竹製品	五九〇	?
綿織物	三八	一〇七、三四三反
疊	三〇八	一三七、九一二枚
樟腦	一〇九	一四二、六七八
和紙	二四九	五一、八八四
氷	九	二、〇八三噸
下駄	二三六	?
皮革製品	七一	?
及物類	一三二	?
傘	一五四	?
樟腦油	一〇九	二〇七、〇八三瓩
船舶	四七	?

鑛業

鑛産物

鑛種	採鑛高	鑛石販賣高 數量	鑛石販賣高 價額	製出高 數量	製出高 價額
總數	二〇五、八九九瓩	二一、八二五瓩	二、五九四、八二九円	二、〇七一、八三〇瓩	六九八、三八一円
硫黃鑛	一六、六五〇	—	—	八三二、五〇〇	六〇、七七三
砒鑛	一、一一六	八四	一、一八八	一五三、八一三	一九、九九六
金銀鑛	一、五〇三	八七五	一五、九七一	二〇〇、六六七	二六、〇八七
銅鑛	八〇、六三五	一八、七二一	二三、九六〇	八八三、六五〇	五九一、一六二
金銀銅鑛	五、二七〇	一、二四〇	五六五、一〇〇	—	—
錫鑛	一〇〇、六九一	八九三	一、九八七、六一〇	—	—
安質母尼鑛	三四	三	二、〇〇〇	一、二〇〇	三六二

鑛山

稼業 鑛區數	稼業 鑛區坪數	休業 鑛區數
一九	五、四九〇、八六五	四[illegible]

商業

內國貿易

種別	移入	移出
總額	五三、六六〇、二七八円	五三、〇三九、六三九円
海運	二四、八八九、一六六	二八、七八九、四八三
陸 鐵道	二八、三九八、[illegible]	二三、七九一、[illegible]

移入主要品	
機械類	六、一八一、六〇九円
酒類	二、三四五、四八三
織物類	二、三三七、五三三
繭	二、〇五三、七一五
生絲	七、九二四、六九〇円

移出主要品:木材、內地米、藥品(工業用化學藥品ヲ含ム)、人造肥料、爆發物、木炭、繭

會社

種別	社數	資本金	拂込資本金
組織別 總數	四九三	三九、七二七、二九一円	二四、〇三〇、〇五〇円
株式	一三一	三五、八一五、三〇〇	二四、〇三〇、〇五〇
合資	三〇〇	二、七五〇、五一六	—
合名	六二	一、一六一、四七五	—
業體別 農業	一四	三六、四二五	—
水産業	四	一八三、〇〇〇	二五、〇〇〇
工業	一四四	一七、六四八、三九七	一二、五五九、五八〇
商業	二七四	一九、二四二、〇一九	一二、〇三八、二七〇
運險業	五六	二、六一七、四五〇	一、三九七、二〇〇

土木

工費(昭和八年度)

種別	總額	縣事業	市町村事業
總額	四、四二八、二八四円	二、四五〇、九七九円	一、四七三、〇五〇円
道路	一、九九二、九八一	九二一、九五八	一、〇七〇、五二三
橋梁	四三三、九一七	二五七、八二六	一七六、〇九一
河川	一、〇一〇、五一七	九三〇、八五八	七七、八五九
港灣	二二八、六三〇	一四六、〇二九	七二、六〇一
用惡水路	五一、六九七	—	一八、九六〇
水道	一五、三〇八	—	一五、三〇五
吏員費	七八、五九七	六四、七八三	一三、八一四
其他諸費	一六六、六三七	一二九、五二五	二七、八九四

南瓜

本縣は園藝經營上有利なる天惠を有するを以て、蔬菜の促成栽培に意を注ぎ着々其の聲價を高めつゝあり。就中南瓜は品種の統一(早生黑皮種)により一層早熟良好の成績を擧げ、今や年産約五十萬圓

家畜（年末現在）

種別	總數	牝	牡	生産頭數	價額	斃死
牛	三四、〇三三頭	二四、七七七頭	九、二四六頭	八、〇二二頭	五三一、五四五円	三四六頭
馬	五六、二三三	四〇、四五七	一二、七七六	六、三六一	四八〇、七二三	八四〇
豚	二三、二五二	七、七八三	四、四七〇	一〇、四七六	一〇九、七二五	一、三八一
緬羊	二九三	二一二	八二	九八	九三六	二七
山羊	四七一	三九一	八〇	一五五	一、〇八四	二一

牛乳

場數	乳牛頭數	搾取高	價額
三三	二六五	二、二四四石	一二一、四三九円

家禽

種別	飼養戸數	羽數	價額	産卵箇數	價額
鷄	六一、三三〇	九〇七、三〇二	四三三、九一五円	四六、八七五、九三九	一、〇二四、三六八円
鶩	五六八	二、七八八	一、五四一	一四〇、〇四三	三、四二一
鵞	二七一	六九三	一、一一三	一六〇、二一三	九〇九
七面鳥	一七三	六八二	一、二九八	一五、四四〇	九九〇

林野面積

種別	總數	立木地	無立木地
總數	五一〇、一二八・八町	四六一、二五七・六町	四八、八七一・二町
國有	一六八、一〇〇・九	一六四、二五七・〇	三、八四三・九
公有	六三、五八〇・六	五三、五〇七・六	一〇、〇七三・〇
社寺有	八四八・二	八二八・七	一九・五
私有	二七七、五九九・一	二四三、六六四・三	三三、九三四・八

林産物

種別	數量	價額
總數	—	一四、〇二七、二三四円
丸材及角材 總額	二、〇四八、〇二三石	四、七七一、五四四
松材	四二三、三二一	七七〇、六四四
杉材	一、二〇三、四二一	二、七四三、四四三
樅材	一四七、四七二	五〇一、三三三
檜材	四八、八五一	一五一、三三七
其他	二二四、九五八	六〇四、七二八
挽板 總額	二、六二五、三三六坪	二、九四二、六七四
松板	四四四、五〇四	五四八、九九八
杉板	一、一五五、六二一	一、二八〇、〇四一
樅板	七二四、二一〇	七三七、〇七五
材 枌板	七〇、三二四坪	八七、七五八
材 其他用材	二三〇、七〇七	二八八、八〇三
其他	—	[illegible]
薪	五一、三八六、二五四貫	一、〇四二、三一二
木炭	三、八四三、〇一九	三、三七七、〇七九
竹材	一四八、四五三束	一四三、〇九〇
樹皮及樹實	—	[illegible]
菌類 椎茸	六三二、二二四斤	八四五、三八六
菌類 松茸	四、五三五	一、三九七
其他雜類	—	七七九、六一〇

漁船

種別	新造船數	廢用船數	現在船數
動力ヲ有スルモノ	三八隻	二三隻	三八一隻
動力ヲ有セザルモノ	一三	一三	二、七六六

遠洋漁業

種別	船數	乘組員	漁獲物價額
動力ヲ有スルモノ	一〇	二、四八四	二、三三五、六七四円
動力ヲ有セザルモノ	—	—	—

漁獲物總額

種別	數量	價額
魚類 總額	五、八二〇、九九二貫	四、八八四、九〇七円
鰮	一、五八三、〇二七	[illegible]
鰹	一、三三八、二九八	[illegible]
鯖	一八五、七五五	[illegible]
鮪	一、四四六、〇九六	[illegible]
鰤	一六一、七六八	[illegible]
鰺	一一〇、〇五三	[illegible]
鯛	四五、七七九	[illegible]
鰆	五三、三一四	[illegible]
鮎	[illegible]	[illegible]
其他	六六六、六三〇	[illegible]
貝類 總額	四六、八五〇貫	一八、七七〇円
鮑	五、〇九四	九、六五六
牡蠣	一、六一〇	三、五〇六
其他	二九、一四六	五、六二八
其他水産動物 總額	四一四、七三七	二一一、二二八
烏賊	一三、八八八	一三七、五〇五
龍蝦	一〇、〇七九	三〇、〇七〇
其他	二七〇、七六〇	四三、六五三
藻類 總額	二七、六二三	三六、一二六
石花菜	二五、〇二一	三三、三五〇
其他	二、六一二	二、七七六

水製造産物

種別	數量	價額
總額	—	一、七四〇、九七五円
節類	一四〇、〇九四貫	六九七、三二一
素乾	一二七、七〇八	三四六、二二四
鹽乾	二一〇、一三一	五九、〇二五
煮乾	一一〇、九二八	九三、〇〇五
燻乾	二四、九〇五	四三、〇九七
鹽藏	一三〇、一三〇	二九、六二四
雜類	一三、一九一	二二、八九一
肥料	三一、〇〇〇	六二、三三〇
魚油	一六、三〇〇	四五、二〇〇
スキフノリ	一、二二〇	二、一二〇

水産養殖

種別	養殖場數	同上面積	漁獲高 數量	漁獲高 價額
總數	一、一二四	一、三三四、四五三坪	二八、七四三貫	七三、九九三円
鯉	一、〇六七	一三三、三七七	二、五七八	六二、九四七
鰻	三七	一九、四七八	—	七、〇〇六
其他	一〇	二、五九七	—	四、〇一〇

工場

本欄ノ事項ハ五人以上ノ職工ヲ使用スル設備ヲ有シ又ハ常時五人以上ノ職工ヲ使用スル工場ヲ調査シタルモノナリ

種別	工場數	職工數 男	職工數 女
總數	三三三	一、七一五	八、六一七
紡織工業	五四	四、一〇五	三、八五六
機械及器具工業	一四	一二三	—
窯業	八	四二	一六
化學工業	二五	三三	六
製材及木製品工業	一三三	一、三八九	四〇六
印刷及製本業	一三	七九	四
食料品工業	四九	四八	三
瓦斯及電氣業	一三	三二	三三
金屬工業	一	二五	—
其ノ他ノ工業	二四	七九	七〇

工産

種別	製造戸數	數量	價額
人絹絲	二	?	一八、三七五、〇〇〇円
工業藥品	一	?	一三、〇二九、〇〇〇
火藥及同製品	四	?	四、七三一、六五〇
發電（所數）	三四	?	四、三一九、一五五
酒類	一七九	三五、六四九石	二、八八二、四六七
肥料	二四	四、一九七、〇四一貫	一、一三〇、一四二
木製品	一一八	?	一、一四〇、〇五二
菓子	一、一二七	?	七三八、四一七
製茶	六三、三四五	三二八、七七九貫	七一七、五五六
醬油	一〇三	二三、四九三石	六六四、五七四
豆腐	一、九八〇	?	三四八、六〇六

金融及貯蓄

銀行

種別	本店	支店（管内ニ本店ヲ有スルモノ）	支店（管内ニ本店ヲ有セザルモノ）	拂込資本金	準備金
總數	五	三	八	七、六〇五、三〇七円	三〇四、六一五円
特殊銀行	—	—	一	—	—
普通銀行	三	三	七	七、二〇五、三〇七	一八五、五五〇
貯蓄銀行	二	一	—	四〇〇、〇〇〇	一一九、〇六五

資本金並ニ積立金中ニハ管内ニ本店ヲ有セサルモノ、支店ヲ含マス

種別	預金 年末現在	貸付金 年末現在	貸付金 年末現在貸付高
總額	一六、七三八、四四〇円	三、五八二、五九二円	三、一〇九、四五八円
特殊銀行	二、六三八、二九二	[illegible]	[illegible]
普通銀行	一三、四六八、五八五	[illegible]	[illegible]
貯蓄銀行	五六三、五六三	[illegible]	[illegible]

無盡

會社別	拂込資本金	組數	口數	給付契約高	掛金契約高
總數	二三三、七五〇円	八五三	四四、〇五五	三二、四五〇、八〇〇円	三四、三三二、三八九円
日州無盡	八二、五〇〇	三〇五	一四、四八三	一〇、二七二、五〇〇	一〇、八八一、〇八三
昭明無盡	二五、〇〇〇	五四	二、一五二	一、〇二六、九〇〇	一、〇八〇、八七八
日向無盡	八七、五〇〇	二七六	一七、八一七	一五、一四〇、三〇〇	一六、〇六〇、八九六
高鍋無盡	四八、七五〇	二一八	九、六〇三	六、〇一一、一〇〇	六、二七九、五三三

郡市別	契約口數	給付契約高
總數	四四、〇五五	三二、四五〇、八〇〇円
宮崎郡	四、一九六	三、六六六、三〇〇
南那珂郡	一、〇六三	二、六〇一、六〇〇
北諸縣郡	一、四五七	一、一三〇、九〇〇
西諸縣郡	二、三九四	一、九七九、九〇〇
東諸縣郡	一、一五五	八九六、九〇〇
兒湯郡	八、一七三	五、〇七六、七〇〇
西臼杵郡	六、五六四	四、二二四、〇〇〇
東臼杵郡	一、八一八	一、九二〇、三〇〇
宮崎市	八、五五五	八、二三四、〇〇〇
都城市	三、〇三四	二、七七五、〇〇〇
延岡市	三、二九七	二、七四五、二〇〇

郵便貯金

人員	金額	一人平均金額
三四二、五七二	一七、四二七、八八四円	五〇・八七円

交通

道路延長

總數	國道	縣道
二、二七一、三四五米	一八七、九五一米	二、〇八三、三九四米

自動車

自家用 乘用	自家用 貨物用	營業用 乘用	營業用 貨物用	特別自動車
三八	三	五三三	三〇八	三八

諸車

自轉車	人力車	荷車	荷馬車	荷牛車	乘用馬車	乘合馬車
六三、三〇〇	二八五	一四、四六二	五、三四五	八七	三	八五

入港船舶

港數	總數 船數	總數 噸數	汽船 船數	汽船 噸數	帆船 船數	帆船 噸數
一五	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	六七九、〇四五

鐵道

種別	停車場	營業粁數	旅客 乘車	旅客 降車	貨物 發送	貨物 到着
國有線	四五	二七四・三粁	一、〇三七、一四六	一、〇三一、四〇〇	四九八、〇三二噸	五七九、四三六噸
縣營輕便鐵道	七	六・八	一七六、三八七	一七六、三八七	九、五一二	九、五一二
社營宮崎鐵道	二	二〇・一	一八三、六二四	一八三、六二四	八、七六一	八、七六一

教育

學齡兒童（×印ハ朝鮮人）

種別	總數	就學始期達者 總數	就學者	不就學者	既就學者	就學始期未達者	就學步合
總數	一六〇、七六四	一三八、七七一	一三八、一一五	一二六四	二一、五七	二、九七三	九九・六三
總數（×）	×	×	×	×	×	×	
男	八一、二七二	七〇、二八六	七〇、〇二八	二五八	一〇、九八六	一、一三	九九・六三
男（×）	×	×	×	×	×	×	
女	七九、四九二	六八、五〇五	六八、三三六	二六九	一〇、九八七	一〇	九九・六一
女（×）	×	×	×	×	×	×	

小學校（×印ハ師範學校附屬小學校）

種別	學校數 公立本校	學校數 公立分校	學級 公立	教員數 總數	本科正教員	專科正教員	准教員	代用教員	兒童 公立尋常	兒童 公立高等	出席步合
總數	二五三	五三	二、八八〇	三、二五七	一、一三	二、六二二	二四五	一三〇	一二〇、一六三	一九、一五六	九七・二二
總數（×）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	九八・三一
尋常	二五	六	二、四六三	二、二二八	一、一一九	一、八六六	九四	八八	六〇、八五四	二、〇五五	九七・二九
尋常（×）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	九八・三五
尋常高等	一三五	四六	四一七	一、〇二九	[illegible]	七五七	一五一	七九	五九、三〇九	七、一〇三	九六・九二
高等	—	—	二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	九八・二六

一學級平均兒童：（尋常）四八・七九、（高等）四五・九四、（尋常）四一・三三、（高等）三八・五〇

公私立學校

種別	校數	教員	生徒	本年卒業者
師範學校（縣立）	二	四〇	五一九	一八三
中學校（縣立）	六	一三一	二、八八一	五〇六
中學校（組合立）	一	二一	一一九	二四
高等女學校（縣立）	六	一九三	二、六〇八	六〇七
高等女學校（組合立）	二	一六	三七〇	九六
高等女學校（私立）	一	一四	三三六	五九
實科高等女學校（町立）	一	八	一七五	四九
農業（甲）（縣立）	五	六一	九八二	二七八
工業（甲）（縣立）	一	一五	一八二	五五
商業（甲）（縣立）	二	三一	七一	一〇〇
實業（市縣立）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◉ 名勝及舊蹟

○小戸神社（宮崎市）……景行天皇熊襲親征の時、勅願の創建に係ると傳へ諸冊二神を祭る往古は現在の阿波岐原町（筑紫日向の橘の小戸の舊跡）に在りしが其の後二回の遷祀を經て現位置下水流町（通稱鶴の島）に鎭座す。

○一ッ葉（宮崎市）……市街地より自動車約十分、禊祓の傳說地橘の小戸の阿波岐原の一部、白砂青松の間に稻荷神社あり風光明媚。夏期は海水浴場として日向名勝の一なり。

○縣社江田神社（宮崎市）……一ッ葉の北約一里諸冊二神を祀る。日向式內四座の一にして俗に産母神社とも云ふ。境內老樹蓊蔚幽靜を極む。

○檳ヶ濱（油津町）……翠松皎沙相連り奇巖怪礁渚際に立ち白波飛瀑雪山を崩す。一望無涯風趣頗る秀麗海水浴場として名高し。

○官幣大社宮崎神宮別宮狹野神社（高原町）……吉都線高原驛より自動車約十分、靈峰霧島の登山口にあり、神武天皇御降誕の地と稱し官幣大社宮崎神宮の別宮なり。崇神帝の朝の創建と傳ふ。境內老杉多く八町の參道巨杉檜立して天を摩す。慶長四年島津義弘の征韓戰捷奉賽の爲め植へしもの天然紀念物として指定さる。又境內は佛法僧の渡來地にして又其の繁殖地なり。同じく天然紀念物として指定さる。

○御池（高原町）……霧島山の中腹霧島東神社の眼下に在り。周圍里餘、千年斧鉞を入れざる原始林を繞し嘗て水面に枝葉の浮ばぬと云ふ淸淨の靈池なり。池中に寫る靈峰高千穗の眺めは又異彩を放つ。

○御腰掛岩（小林町）……小林町雛守嶽の麓にあり。景行天皇熊襲征討の途次御駐蹕の址なりと傳ふ。

○白鳥温泉（飯野村）……吉都線飯野驛より一里半白鳥山の北麓に石崖を透して湧出す。明礬泉にして諸症中瘡毒に特効あり。其の他山中にかさ湯温泉、大幡温泉等あり。

○海棠自生地（飯野村 加久藤村）……白鳥温泉の南三町玉泉湧く溪流約八十町歩の地は春綠爛の花開く本邦唯一の海棠の自生地なり。天然紀念物として指定さる。

○須木の瀧（須木村）……吉都線小林驛より自動車約時餘、須木川の淸流約十二丈の絕壁に懸り恰も白龍の躍るが如く飛沫雪と散り眞に壯絕を極む古來緞子娘と義母の無理心中の傳說あり、依つて一名緞子瀧とも稱す。

○法華嶽（八代村）……絕頂に藥師如來を安んず。日本三藥師の一なり眺望開濶東に日向洋を望み、西に霧島を仰ぎ風光雄秀なり。山中に傳說和泉式部身投の嶽あり。名物玩具法華嶽鶉は粗朴淡彩頗る雅趣に富む。

○縣社都萬神社（妻町）……西都原と程遠からず日向式內四座の一にして木花開耶媛を祀る。老樟鬱蒼境地頗る幽邃なり。

○可愛之山陵傳說地（北川村）……日豐線日向長井驛より南十數町瓊々杵尊の御陵墓傳說地なり。附近に丁丑の役の激戰地たる長井の陣、南洲翁寓居の跡あり。西北に聳ゆる可愛嶽は所謂孤軍奮鬪圍を潰して出でたる所當時西鄕以下諸將の薩軍本營たりし民家今尙其の山麓に存し種々の遺留品を保存しあり。

○行縢の瀧（南方村）……延岡市の西北約三里、双峰兀立東を雄嶽、西を雌嶽と云ふ。其の峽間水勢奔激一大飛瀑をなす。高さ十八丈眞に天下の奇勝なり。名勝行縢山として天然紀念物に指定さる。附近に日本武尊、源爲朝に關する傳說地あり。

○高千穗（高千穗町）……水鄕延岡を西へ十五里自動車約三時間、五ヶ瀨川に沿ひ羊腸崎嶇溪逼り山高く白雲去來する所、所謂神都高千穗なり沿道の草茅に千木高知りて底津磐根に宮柱太しく立つを見れば傳へ云ふ天孫降臨の古を眼のあたり見る心地す。縣社槵觸神社及垂仁天皇の御宇創建なりと傳ふ高千穗神社あり。其の他高天ヶ原を始め四皇子ヶ峯、天の香久山等の史蹟、國見ヶ丘、壁立千仭、神橋（高千穗峽）等の名勝。柘の瀧及七折鐘乳洞等の天然紀念物あり。

○天の岩戸（岩戸村）……高千穗より自動車約二十分岩戸川の北岸丘岡の中腹に在り。附近に天照皇大神を祭る天ノ岩戸神社、神樂岡、天の安河等の傳說地多し。

○久峰觀音と鶉（廣瀨村）……廣瀨驛の西方十數町丘上にあり。敏達帝の世僧日羅の建立と傳ふ。境內幽靜眺望秀絕、賽客常に絕へず。名物玩具久峰鶉は神武帝の御幼時に愛玩されたるものなりとの口碑あり。

○京町（眞幸村）……京町驛附近一帶到る所温泉湧く雷温泉、麓温泉大王温泉、鍋澤温泉を著名とす。泉質多樣効亦多し。

○吉田温泉（眞幸村）……吉都線京町驛より自動車約十分、滾々たる淸流盡る所矢岳隧道の山麓にある含鐵食鹽泉として瘡瘢に特効あり、島津義

椎茸

本縣の氣候風土は、椎茸の栽培に適し、且つ原木豊富なるに因り、夙に「日向椎茸」の名聲は海外に及べり。栽培者五千餘人、年産六十餘萬斤、價額八十五萬圓にして其の産額本邦第一位なり。

日向の馬

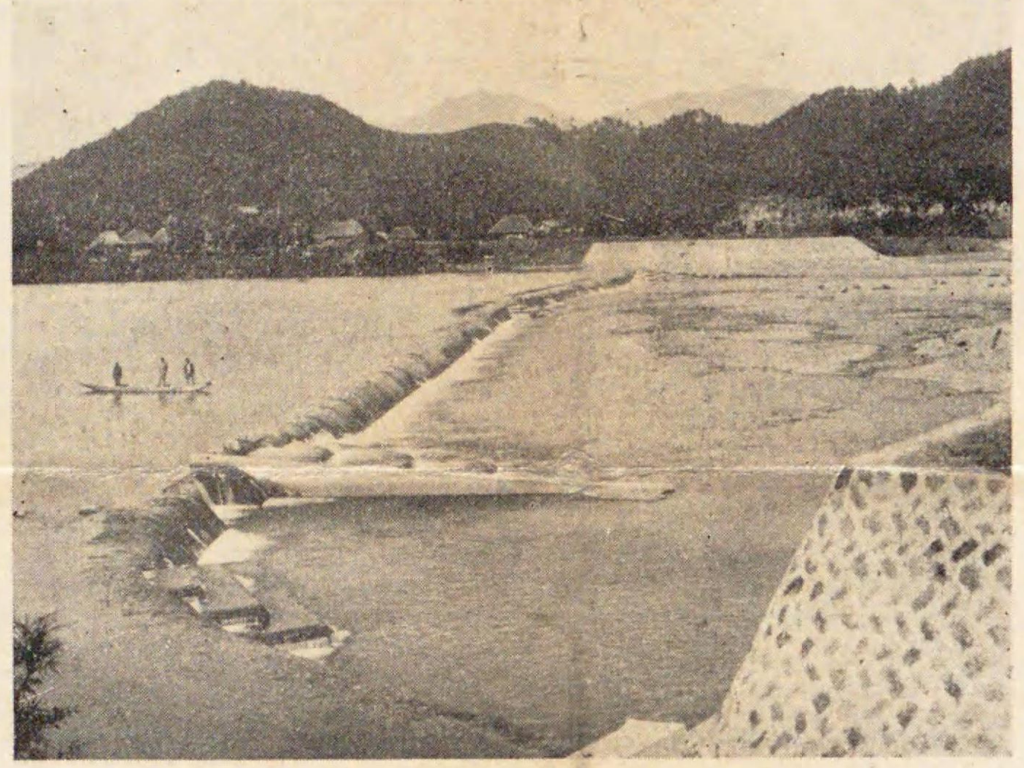
本縣は古來優良馬産地にして、總頭數五萬六千有餘、毎年三千五百餘頭を移出し、軍馬に購買せらるゝもの九州各縣購買軍馬の約四割強なり。乘馬は品位に富み、肢蹄堅牢にして強健なるもの多く、輓馬は強健にして持久力大なる實用的のもの多産す。

飫肥杉

木材は本縣主要物産の一にして産額本邦第二位を占む。而して本縣木材中飫肥杉は其の彈力性に富めると、水濕に耐ふると、保存力の強大なるとに由り船艦材として天下一品の稱あり、産地は南那珂郡北鄕村方面にして、年産三十三萬石なり。

南瓜

本縣は園藝經營上有利なる天惠を有するを以て、蔬菜の促成栽培に意を注ぎ着々其の聲價を高めつゝあり。就中南瓜は品種の統一（早生黒皮種）により一層早熟の好成績を擧げ、今や年產約五十萬圓、本邦第二位さなれり。販路は京濱、京阪神を初め全國三十有餘の都市に及び到る處に賞味さる。



岩熊井堰

五ヶ瀬川河口を去る上流約二里の所に在り、享保年間の創設に係る。經年久しきに亘り腐朽甚しき爲旱害、水害年々甚大なされるに因り縣營を以て其の改良工事を企畫し昭和三年着工、昭和八年竣工せしものにて、工費約四十萬圓を投ず。此の灌漑面積千百三十三町歩にして工事施行前に比し增收年八萬五千圓、地價增進豫想九十萬九千餘圓なり。

工	鑛	產	物	內國貿易	組織別	業體別	工費
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

教育	財政
[illegible]	[illegible]

國庫支出	總額	內務	農林	文部	大藏
縣經費	三、一三四、八七七円	一、六九五、五九九円	一三八、二一五円	一、一〇二、一四八円	一五円

本表ハ主トシテ昭和九年若クハ昭和九年度ノ事實ヲ揭ク
表中數ノ單位ハ圓、町、石、貫等ニ止メ以下ノ小數ハ概ネ四捨五入スト雖モ一位以下ノ小數ヲ必要トスルモノハ單位ニ「•」ヲ附ス而シテ事實ナキモノハ「—」ノ符號ヲ附セリ
昭和十年十月

○高千穗（高千穗町）……水鄉延岡を西へ十五里自動車約三時間、五ヶ瀬川に沿ひ羊腸崎嶇溪逼り山高く白雲去來する所、所謂神都高千穗なり沿道の草茅に千木高知りて底津磐根に宮柱太しく立つを見れば傳へ云ふ天孫降臨の古を眼のあたり見る心地す。縣社槵觸神社及垂仁天皇の御宇創建なりと傳ふ高千穗神社あり。其の他高天ヶ原を始め四皇子ヶ峯、天の香久山等の史蹟、國見ヶ丘、壁立千仭、神橋（高千穗峽）等の名勝。柘の瀧及七折鐘乳洞等の天然紀念物あり。

所當時西鄉以下諸將の薩軍本營たりし民家今尙其の山麓に存し種々の遺留品を保存しあり。

○行縢の瀧（南方村）……延岡市の西北約三里、双峰兀立東を雌嶽、西を雄嶽さ云ふ。其の峽間水勢奔激一大飛瀑をなす。高さ十八丈眞に天下の奇勝なり。名勝行縢山さして天然紀念物に指定さる。附近に日本武尊、源爲朝に關する傳說地あり。

○天の岩戸（岩戸村）……高千穗より自動車約二十分岩戸川の北岸丘岡の中腹に在り。附近に天照皇大神を祭る天ノ岩戸神社、神樂岡、天の安河等の傳說地多し。

○久峰觀音と鶉（廣瀨村）……廣瀨驛の西方十數町丘上にあり。敏達帝の世僧日羅の建立さ傳ふ。境內幽靜眺望秀絕、賽客常に絕へず。名物玩具久峰鶉は神武帝の御幼時に愛玩されたるものなりさの口碑あり。

○京町（眞幸村）……京町驛附近一帶到る所温泉湧く雷温泉、麓温泉大王温泉、龜澤温泉を著名さす。泉質多樣効亦多し。

○吉田温泉（眞幸村）……吉都線京町驛より自動車約十分、滾々たる淸流盡る所矢岳墜道の山麓にある含鐵食鹽泉さして瘡瘢に特効あり、島津義弘の建てた湯權現があり一名鹿の湯さもいふ。

◉ 史蹟名勝天然紀念物　（本指定）

種別	名稱	所在地
史蹟	千畑古墳	兒湯郡上穗北村大字穗北
仝	西都原古墳群	仝郡妻町大字三宅
仝	宗麟原供養塔	仝郡川南村大字川南
仝	中尾供養塔	南那珂郡東鄉村大字殿所
仝	本庄古墳群	東諸縣郡本庄町
天然紀念物	青島熱帶性植物產地	宮崎郡靑島村大字折生迫
仝	都井岬蘇鐵自生地	南那珂郡都井村大字御崎
仝	海棠自生地	西諸縣郡（加久藤村大字西永江浦 飯野村大字末永）
仝	狹野杉並木	仝郡高原町大字蒲牟田
仝	關ノ尾甌穴	北諸縣郡庄內町大字關ノ尾
仝	高島ノ蒲葵自生地	東臼杵郡北浦村大字宮野浦
仝	古江ノ金木犀	仝郡仝村大字古江
仝	七折鐘乳洞	西臼杵郡七折村字南
仝	柘ノ瀧鐘乳洞	仝郡高千穗町大字向山
仝	妙國寺庭園	南那珂郡福島町字觀音寺ノ上
仝	行縢山	東臼杵郡南方村大字南方
仝	幸島猿棲息地	南那珂郡市木村幸島
仝	かもしか	本邦特有ノモノニシテ本州、四國九州ノ山岳地帶ニ棲息シ四月頃一仔ヲ分娩ス。主ナル棲息地宮崎外十一縣
仝	狹野神社佛法僧蕃殖地	西諸縣郡高原町大字蒲牟田
仝	青島村ノ隆起海床ト奇形波蝕痕	宮崎郡靑島村大字折生迫

◉ 神武天皇御東遷二千六百年記念顯彰聖蹟斷所

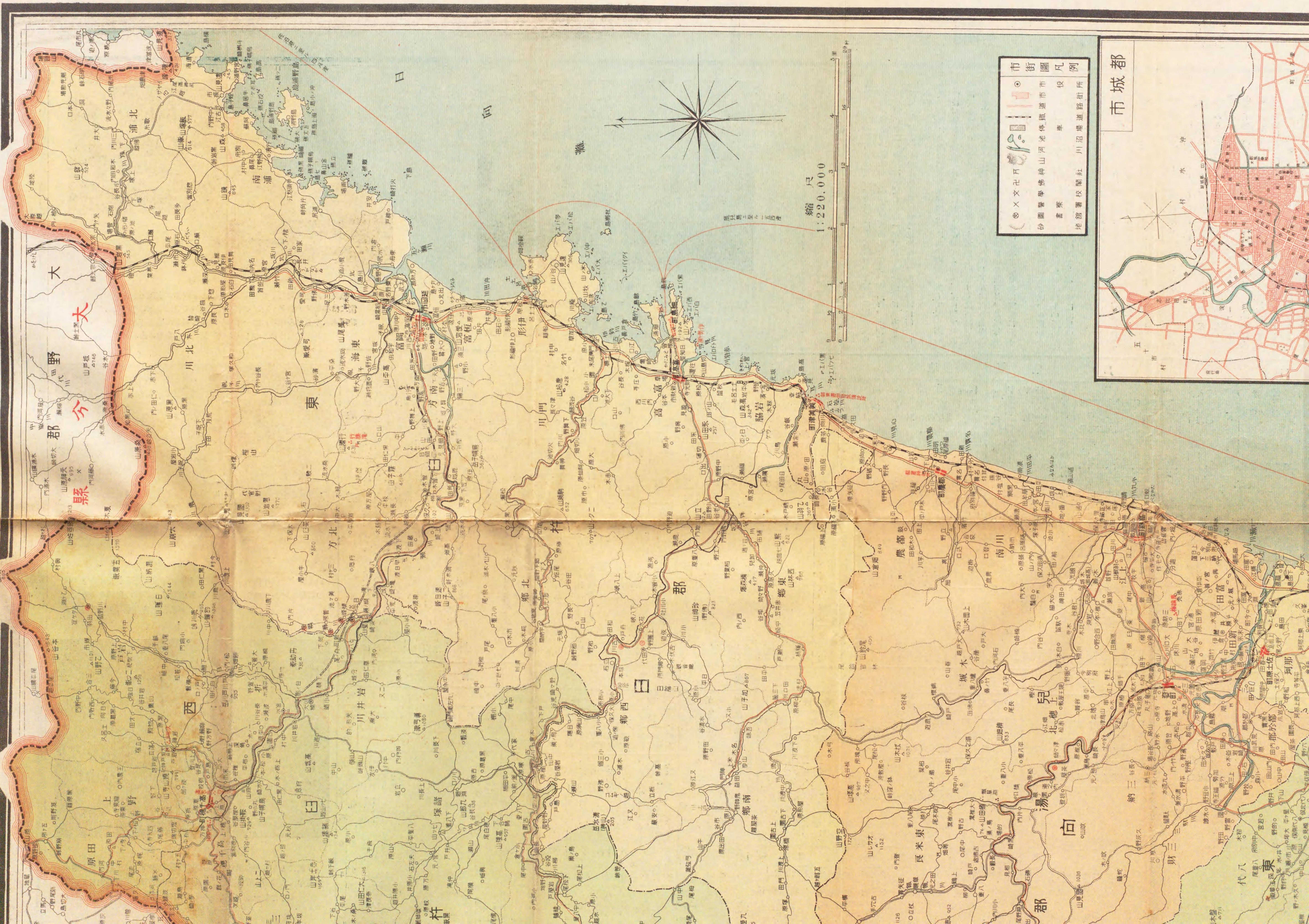
名稱	所在地
○皇宮屋	宮崎市
○美々津	兒湯郡美々津町
○皇子原	西諸縣郡高原町
○四皇子ヶ峰	西臼杵郡高千穗町
○佐野原	宮崎郡佐土原町
○都島	北諸縣郡五十市村
○鉾島	東臼杵郡細島町
○平山神社	南那珂郡東鄉村
○吾平津神社	仝郡油津町
○吾田神社	仝郡吾田村
○可愛山陵傳說地	東臼杵郡北川村
○吾平山陵傳說地	南那珂郡鵜戶村
○傳說玉依姬命御墓	仝郡仝村

昭和十年十一月五日印刷
昭和十年十一月十日發行

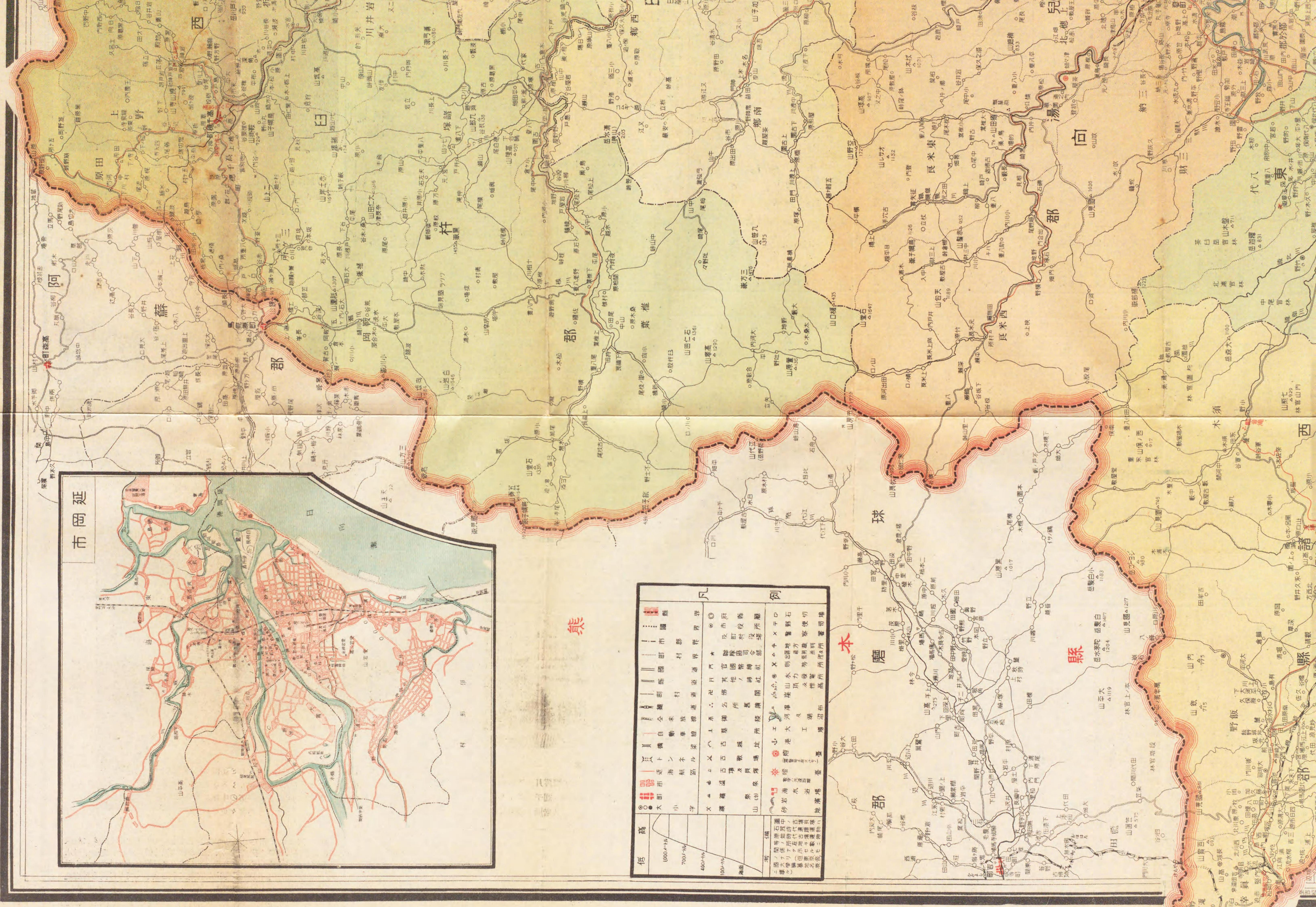
宮崎縣

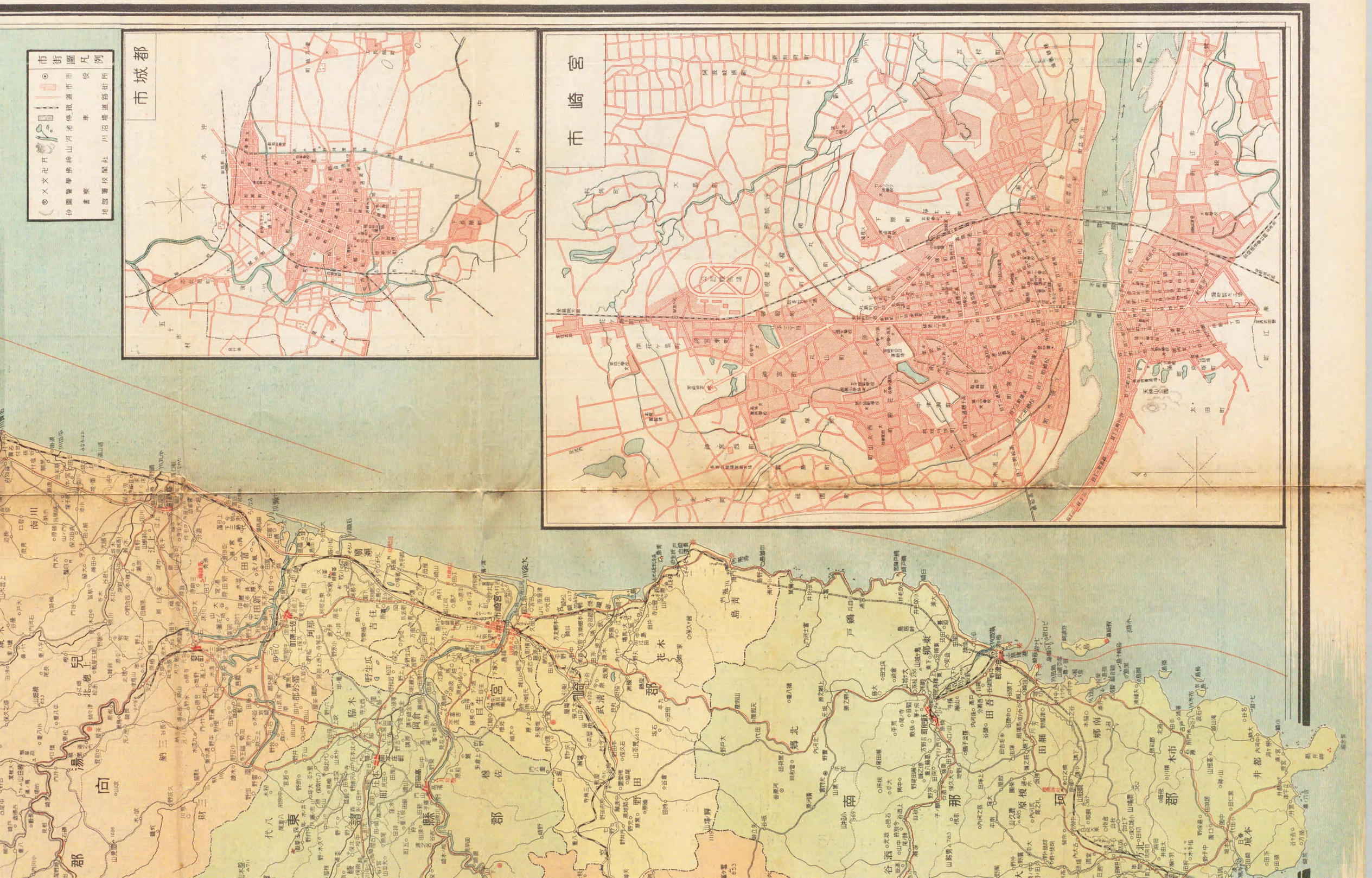
宮崎縣宮崎市高千穗通二丁目
印刷者　壹岐晴繁
宮崎縣宮崎市高千穗通二丁目
印刷所　平和印刷所
電話（五六四 五六五番）

宮崎縣地



縣地圖

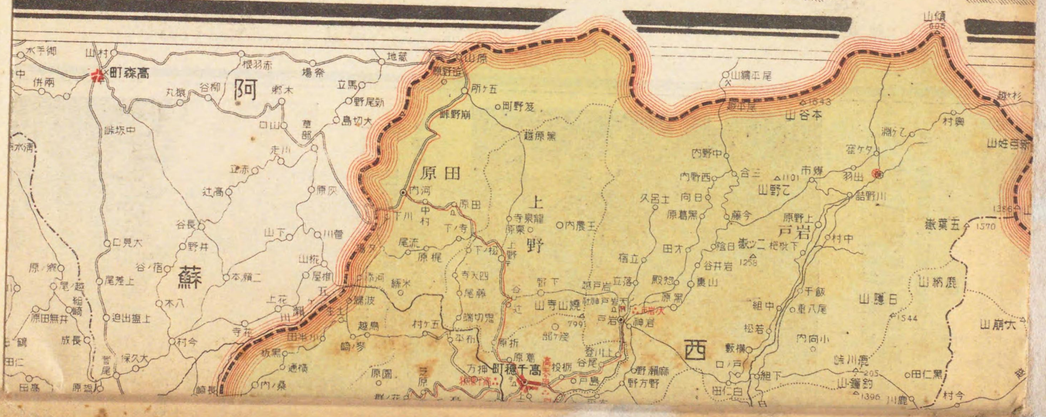



市街圖凡例
市役所
道路
停車場
鐵道
市道
川沼
池山
神社
佛閣
學校
警察
書館
卍
文
市城都
市崎宮
宮崎
都城
日向
東諸縣郡
南那珂郡
北那珂郡
宮崎郡

霧島國立公園
有明灣
志布志町
大隅町
肝屬郡

9760
31

寄贈

衆議院
11.2.10
圖書館

宮崎縣地圖